



桜梅桃李 (4)



生徒のみなさんへ

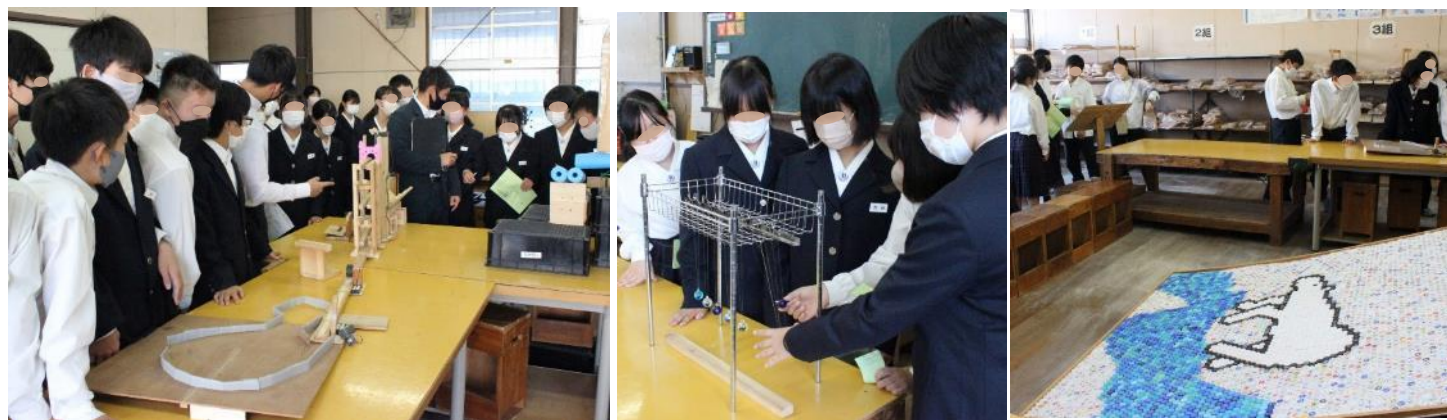
● 文化総合発表会 ● 前号に引き続き展示部門を紹介します。



美術の授業で創り出された全学年の作品が、美術室内、廊下に数多く所狭しと展示された光景は圧巻です。また、美術部が展覧会に出品した作品や、嘉代子桜の絵本に使用された原画なども展示され、バラエティに富み充実した内容でした。



家庭科では家族のための食事や環境に配慮した調理のレポート発表がなされました。他者のことも考えながら食についてしっかり考えていましたね。6・7組からはピタゴラおもちゃや紙すきの作品が展示され、遊べるとあって大人気でした。



環境科学部からは複雑な構造の装置の作品や、環境に配慮した廃材のオブジェなどの展示がありました。モノづくりに欠かせない法則の面白さや、環境を守ることに関連したテーマを設定し、作品作りに取り組んだことに感心させられます。

それでは、皆さんの感想の一部を紹介します。

2年4組 ○○ ○○ さん 「合唱」

私が心に残っているステージは、学年合唱です。パートごとに分かれて練習している時、最初は大きな声を出すということを意識してやっていたので、あまり良い音が出ませんでした。言葉一つ一つに気持ちが込もっていないし、強弱も付けられていないし、

音を伸ばし終えるタイミングもばらばらで、正直とても不安になりました。きっと、私と同じように不安だった人も多く居たと思います。でも、パートリーダーの人たちが、改善すべき所、分からないところ等を各クラスから聞き、それに対して真剣に悩み、的確な指示をしてくれたりしました。最初の頃は、アドバイスをもらっても、中々言われた通りにできず、音も合いませんでした。それでも、パートリーダーの人たちがめげずに何度も何度もアドバイスや改善案を出してくれました。お陰で、最後の方のパート練習では、皆が言葉一つ一つに思いを込められていたし、表情や強弱、入りと終わりのタイミングなどといった細かな部分までも意識して歌えるようになりました。あと、今までは歌うことに精一杯で聴けていなかったアルトと男声も、最後の方は聴きながら歌えるようになったし、音の響きも感じ取れるようになりました。本番は緊張してしまい、最初の方は上手く声が出せなかったけど、徐々に周りの音も聴けるようになり、伸び伸びと合唱することが出来ました。

合唱が終わって振り返ってみると、パートリーダーの人たちや友達、担当の先生方等、様々な人たちのお陰で、こんなにも伸び伸びと歌えたんだなと気付きました。これから先、何か取り組む時は、誰かの支えがあるからできているということを中心に留めて取り組みたいと思います。そして、誰かに支えられっぱなしでは自分が成長できないので、次は自分が率先していけるよう努力したいと思います。

2年3組 ○○ ○○ さん 「画面越しのハーモニー」

私の中で今年の文化総合発表会は、合唱が一番楽しくて思い出に残ったと思います。～中略～ 前日の合唱はインフルエンザの影響で、ひな壇に立って皆で歌うことができなくて思うように歌えなかったり、気合が入らなかったりと、色々な思いの人がいたと思います。その中で、今回のこの合唱は良いステージ発表になったのではないかと私は思います。特に、「花は咲く」はとても良い歌詞で、先生にもずっと「思いが伝わるように!」と言われていたのですが、声量が大きいとか、強弱をちゃんと付けることができたとか、それだけじゃなく、皆の気持ちが歌詞に乗って、聴いている人に思いが伝わったのではないかと思います。私達のクラスは始め、男子の声量が小さいと先生に言われていたのですが、本番は男子の声量がしっかり聴こえてきて、男女ともに美しいハーモニーになっていたらしいと思います。

また、合唱だけでなく、これまでたくさん準備をしてきました。なので、すごく皆で体育館に集まって見たかったです。けれど、急にオンライン開催となった割には大きなトラブルもなく、スムーズに進めることが出来たし、楽しむことが出来たのではないかと思います。オンラインで行うとなった時、「これまでの努力が水の泡になった」と思ったけど、先生たちが最善の策を考えてくれて生で見るとは劣った所はあるかもしれないけど、スローガンにもあるように「一生の思い出に残る文化総合発表会」に私はすることができました。

2年2組 ○○ ○○ さん 「一生の思い出になった文化総合発表会」

私は、文化総合発表会を通して学んだこと、感じたことがたくさんありました。まず学んだことは、大事なものは「結果」だけでなく、「過程」もとても大事ということを学びました。私は本番の合唱で緊張をしてしまい、思うように完璧には歌えませんでした。でも、私は全く後悔をしていません。なぜなら、合唱練習を毎回全力で取り組んでいたからです。もし、それをしないで本番で思うように歌えなかったら、「練習をもっと真剣に取り組んで入れれば良かった…」と後悔を絶対にしていたと思います。だから、本番の「結果」があまり思うようにいかなくても、練習という「過程」を毎回大事にすることがとても大切なことなんだと学ぶことが出来ました。また、文化総合発表会が出来たのは、準備してくれた先生方や専門委員の人たち、オープニングやエンディングを盛り上げてくれた生徒会執行部の人たち、その他にも様々なプログラム、展示で盛り上げ楽しませてくれた皆さんに感謝しないといけないと思いました。生徒会執行部の人たちは「バカっいい日常」を作るのにたくさん時間がかかったと思うし、放課後遅くまで残り、準備してくれたことに感謝しています。合唱のパートリーダーはパート練習の時、中心になってやってくれたし、専門委員の人たちや先生方が準備や片付けを行ってくれたことで展示を観ることが出来ました。その人たちのお陰で、一生の思い出に残る文化総合発表会になったと思います。～後略～

2年1組 ○○ ○○ さん 「思い出に残った文化総合発表会」

全学年の合唱を聴いて、1年生は思ったよりもすごく声が出ていて驚きました。ソプラノ、アルト、男声に分かれて強弱もしっかり付けていて良かったと思います。2年生は練習通りにしっかり声が出ていたけど、張り切りすぎて、強弱がしっかりできていなかったの、3年生に上がったなら、もっと意識していきたいと思いました。3年生は何も言うことなしでとても上手でした。皆が声を出し、強く歌うところがしっかり表現されていてすごく良かったです。～中略～ 私はパートリーダーで歌う時の準備などをしました。正直、面倒と思ったこともありましたが、皆が全力で歌う姿を見て、面倒な事だけやって良かったなと思い、やりがいを感じました。～中略～ 最後に、今日、2年生の合唱をきれいに終わらせることが出来たのは、一か月間、クラスの皆で必死に練習した事と、全学年の指導をしている中村先生のお陰なので、とても感謝しています。来年は、今回よりもっとレベルの高い歌声を目指し、聴いてくれる皆さんに驚いてもらえるような歌声を創り上げ、気持ちよく歌いたいと思います。

< 次号でも展示部門と感想文の紹介が続きます。 >